

「荃南小学校の御田植祭伝承活動の取組」

1. 学校名	南種子町立荃南小学校
2. 学年・人数	4年生以上の男児 11人
3. 日時・場所	<p>(1) 御田植舞（神楽）の練習 3月末～4月2日 荃永研修センター</p> <p>(2) 御田植舞（神楽）の発表及び御田植え 4月3日 宝満神社の御田植祭（荃永）</p> <p>(3) 赤米の稲刈り 10月5日</p>
4. 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事、伝統工芸品について	<p>(1) 名称 国指定重要無形民俗文化財 種子島宝満神社の御田植祭 (たねがしまほうまんじんじゃのおたうえまつり)</p> <p>(2) 由来 南種子町荃永に鎮座する宝満神社で行われる行事で、赤米、御稲などと呼ばれる赤みを帯びた米の苗を神田に植えて豊作を祈願する農耕行事である。神田に隣接した自然の小高い山での祈祷で授かった苗を神田に植える。また、赤米という独特の米を儀礼的に用いることや田植え後に舟田で御田植舞が奉納されることなど、地域的特色も豊かである。</p> <p>(3) 構成 宝満神社に伝わる御田植祭は、神社で古くから厳しく守り伝えられてきた赤米を伴った祭りであり、苗取り、御田の森の赤米の祭り、オセマチの赤米の御田植え、周辺の御田の御田植え、舟田での赤米の舞、直会（ナオライ）の順で行われる。児童が参加するのは、御田植えと宝満神楽で、4年生以上の男子のみの参加となる。</p>
5. 文化財伝承・活用の取組において地域との連携や工夫した点等	赤米の田植えと稲刈りは、宝満神社の宮司からの依頼を受けて、学校から保護者に参加を呼び掛けている。実施日はそれぞれ春休みと休日になるので、保護者引率で参加している。
6. 取組の様子（練習状況、発表の場等）	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>御田植え</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>御田植舞</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>稲刈り</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>足踏み脱穀機体験</p> </div> </div>
7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等）	<p>【児童】 たくさんの人の前で神楽を舞うのは少し照れるけれど、地域に伝わる伝統をつないでいく大事なことから、みんなで一緒にがんばっていきたい。</p> <p>【教職員】 赤米の御田植の儀式には、様々な決まりごとがあり、その一つ一つに意味がある。神楽舞も棒踊りもひょうたん踊りも仕草や囃しに伝統の深さを感じ、観る者の心を揺り動かす。地域の方々は、それを次の世代にしっかり伝承し、児童もその受け継ぐことの大切さを自覚している。学校としても、地域の伝統を守り受け継いでいくことのすばらしさを教えていきたい。</p>